

山岳部 充実の年は美しい虹で幕を閉じた 朝日岳 (11月3日(日))

最終山行は朝日岳・夕日岳を計画し、札幌定山溪へと向かった。生憎の雨予報で、車での移動中も雨模様だった。定山溪はすでに営業を止め廃墟となった村も目立ち、札幌近郊にも関わらず全国的に見られる温泉街の廃墟化の一端を垣間見る。駐車場を探し、最終的に夕日岳登山口近くの駐車場に落ち着く。遠回りして朝日岳登山口へ。落ち葉が積もり雨で湿った狭いトガース続きの登山道で、部員たちは苦戦しつつも快調に登る。途中今年1年間の我々の充実した山行を祝福するかのように、素晴らしい虹が眼前に現れた。象徴的瞬間であった。何もない山頂で休憩してから下山開始。林道を経て定山溪園内の散歩道に入ったが、すぐに立入禁止の看板に出くわす。散歩道も老朽化で改修が必要な時期であるようだ。我々は回り道とショートカットで無事吊橋ルートに戻り、無事大きな河童像を目にすることが出来た。時間の遅れと帰宅時の札幌渋滞予想を考慮し、今回は夕日岳を断念。その代わり定山溪ダム資料館を見学し、小金湯温泉での入浴時間を予定より長めにとってのんびり過ごした。予想通り札幌市内の車の混み様は中々のものだったが、事故無く無事に岩見沢駅に戻り、今年1年の山行を締めくくることが出来たのでありました。



まず急な階段を上がります



朝日岳登山口



素晴らしい虹 わかるかな？



トラバース斜面を登る



朝日岳山頂



トラバース斜面を下る



至る所に河童像